

「南国市」誕生の思い出

市議会議員 沢村武一
(元、香長村議会議員)

昭和二十八年九月一日、町村合併促進法が制定され、県が合併指導を始めるとともに、各町村も独自に調査、研究にとりかかりました。どのようなかたちで合併するか関係者のあいだで一番の関心事で、高知市の近くの町村は高知市への合併を希望するものが多く、その他相生、十市、三和合併で南海村を廃止させようとする動きもありましたが、いずれも実現できませんでした。しかし遂に三十一年九月、十市、三和、大嶺、稲生、前浜、日章の六ヶ村で「香長村」が後免、長岡、国府、久礼山、飯沼、上倉の六町村で「後免町」がそれぞれ誕生しました。

合併はこれでもう終ったと思っていました。六月に制定されていた「新市町村建設促進法」に基づき、三十二年三月二十六日、知事は香長村、後免町、野田村、岡豊村、大津村、介良村、岩村のいわゆる嶺南七ヶ町村合併の必要性を認める勧告を出したのでした。



このような情勢の変化の広報と村民の意見を聞くために各地区で協議会をひらきました。その結果は大同合併に特に反対するという地区はない状態でした。大勢が大同合併に徐々に動いていく中で、三十三年三月五日、知事の助言もあって「嶺南七ヶ町村合併調査協議会」の結成を決め、六月十四日開催の運びとなりました。六月十四日、大津村、介良村が欠席したため残念ながら「打合せ会」に終わってしまいました。八月十四日、大津村、介良村欠席のまま再開、規約を決定、合併委員会、町村、団体、学識経験者などから五十二名を選任、合

併後の新市の行財政を研究したり、国有林の現地調査をおこないました。大津村、介良村は最初から大同合併には積極的でないむきもありましたが、この段階で合併に参加しないことを表明し、正式に協議会を脱退しました。これに対して関係町村、特に香長村から異議がでましたが、県の「まず五町村で合併してもらいたい、大津村、介良村も合併にむけて引き続き指導をするから」という強い意向もあり、遂にこれを認めて五ヶ町村合併ということになったのです。合併後の市の「名称」については合併委員会検討されましたが、高知市、城東市、後免市、香長市、嶺南市、南国市の中から投票の結果「南国市」と決まりました。

併後の新市の行財政を研究したり、国有林の現地調査をおこないました。大津村、介良村は最初から大同合併には積極的でないむきもありましたが、この段階で合併に参加しないことを表明し、正式に協議会を脱退しました。これに対して関係町村、特に香長村から異議がでましたが、県の「まず五町村で合併してもらいたい、大津村、介良村も合併にむけて引き続き指導をするから」という強い意向もあり、遂にこれを認めて五ヶ町村合併ということになったのです。合併後の市の「名称」については合併委員会検討されましたが、高知市、城東市、後免市、香長市、嶺南市、南国市の中から投票の結果「南国市」と決まりました。

「太陽のバス」

参加者募集

重度身体障害者のための研修バス「高知県太陽のバス」が11月10、11日の日程で室戸地区へ派遣されることになり、参加者の申込受付を行っています。

派遣人員は、県全体で視覚、聴覚、肢体障害者二級一四級で、各三十人です。

参加資格要件は、①身体障害者手帳を持っている十八歳以上、六十歳未満の人で、一級から四級までの在宅障害者。②協調性に富み、団体生活に適応できる人で、てんかん性の発作、伝染病疾患のない人。③原則として、過去これに参加したことのない人。

参加希望者は、10月3日までに市役所福祉事務所社会係へ申込んでください。

南国地区代表

全国大会へ

県老人クラブ連合会主催の県老人開基・将棋大会(65歳以上の老人クラブ会員)が八月二十八日、高知市永国寺町の県老人福祉センターで開かれ、南国地区代表の中

- (1) 合併の形式 合体合併
- (2) 市の名称 南国市(なんこくし)
- (3) 役所並に支所出張所の位置 市役所旧後免町附近支所旧領石、三和、十市、岡豊、出張所旧日章
- (4) 旧町村の財産は全部南国市に帰属する。
- (5) 議会議員の定数は三十人とし、南国市発足後最初の議員選挙に限り、旧町村の区域を選挙区として後免町十二名、香長村十四名、野田村一名、岡豊村二名、岩村一名を選出する。
- (6) 新市の教育委員会の委員は五名で組織する。
- (7) 職員の身分 一般職については、旧町村職員は引き続き新市の一般職として任用、特別職にある者は、合併と同時にその職を失うものとする。
- (8) 消防組織については、消防本部を一ヶ所設置し、旧町村の消防団は分団として残置する。
- (9) 市税の賦課徴収は均一課税とする。
- (10) 農業委員会は新市の区域にひとつ設置し、その定数は法定最少数とす。
- (11) 合併の期日は、昭和三十四年十月一日とする。

- (12) その他の事項 ①南国市発足後、旧岡豊村の住民の一部が高知市への分離を希望し、高知市もこれを受け入れる場合、境界変更することを承認する。 ②旧岩村の一部の住民が土佐山田町に分離を希望し、土佐山田町もこれを受け入れる場合には、南国市発足と同時に境界変更することを承認する。

以上協議会の証として本書五通を作成、連署押印の上各一通を保管する。

昭和三十三年九月二十九日
長岡郡後免町長 金堂久喜
長岡郡香長村長 西村盛之

教室生募集

期間・9月11日、毎週日曜日 午前10時～12時

場所・大嶺公民館和室

講師・野中千秋(土佐山田町)

教室についてのおたずね、参加申込みは、中央公民館☎43498まで。

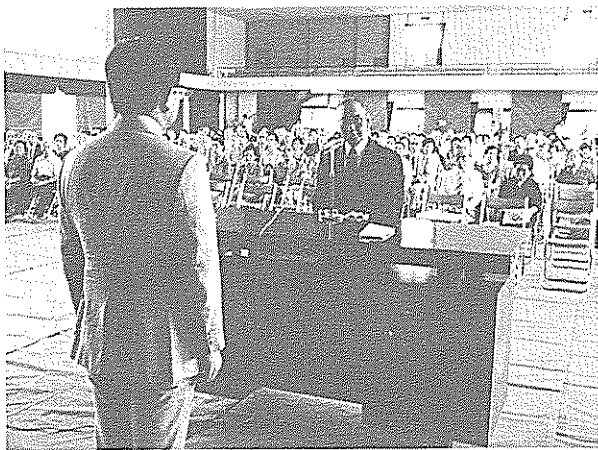
今年で二十一回目を迎えた高知新聞社主催による恒例の「金婚夫婦祝福式典」が九月一日、県下六今場で一斉に開かれました。

この南国会場では、南国市、土佐山田町など十一市町村から百二十三組(南国市関係四十組)の金婚夫婦が市民体育館に勢揃い。昭和四年に結婚してから苦楽を共に半世紀、激動の昭和史の生き証人として、ダイヤモンド婚めざして新たな出発をしました。

式典は神事のあと、高知新聞社の福田常務取締役がお祝いのことをのべたあと、金婚夫婦に記念品が手渡され、続いて南国市長などの祝辞があり、これに対し国府の鍋島勉さん(76)秀さん(68)夫

妻が謝辞を述べ日程を終えました。南国市関係は次のみなさん。

◆白木谷 唐若薫(83)雪枝(77)成合 前田務(74)恵(68)植野 杉内元義(74)彰子(66)久礼田 門田義夫(74)加寿子(70)徳橋福次(81)春子(71)植田 門田忠義(74)千鶴子(69)国府 鍋島勉(76)秀(68)岡豊町 竹内市(79)八重子(70)中山林(79)富美(73)野口武治(76)喜美衛(67)南降山 浜田刻薫(74)喜美子(69)廿枝 高橋森也(74)光江(72)小笠 中村勢治(75)貞美(70)山本傳(81)茂子(76)下野田 永田勇(84)保衛(75)後免町 阿村竹治(85)陽子(76)郷久保幸重(71)重威(70)西内晴正(74)雪子(73)明見 杉本鹿之助(76)



「金婚」おめでとう

9月1日の「金婚夫婦祝福式典」

今年で二十一回目を迎えた高知新聞社主催による恒例の「金婚夫婦祝福式典」が九月一日、県下六今場で一斉に開かれました。

この南国会場では、南国市、土佐山田町など十一市町村から百二十三組(南国市関係四十組)の金婚夫婦が市民体育館に勢揃い。昭和四年に結婚してから苦楽を共に半世紀、激動の昭和史の生き証人として、ダイヤモンド婚めざして新たな出発をしました。